学校番号	403

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　現代の国語　（第一学習社）						
副教材等	新演習　現代文アチーブ１（桐原書店） 常用漢字　ダブルクリア（尚文出版） 新訂総合国語便覧（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

文章を正確に読解する力と基本的な語彙や漢字の読み書きといった基礎的な学力の育成を目指します。そのために、主体的に学び、自ら学びを深める態度を求めます。間違いを恐れず、まずは諦めず文章に向かい、得た自分の考えを表現することを通して、意欲的に学習を行いましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざします。

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 ・習得した知識を問題解決のために活用している。	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	物事の捉え方 ［教材］「『本当の自分』幻想」（平野啓一郎）	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにしようとしている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：読書の意義と効用を理解し、実践する意欲を高めている。	定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 小テスト 発表 ノート提出
	比較文化 ［教材］「水の東西」（山村正和）	a：言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解している。 b[読]：内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 c：[書]：自分の考えや事柄が的確に伝わるように根拠の示し方や説明のしかたを工夫することができる。	定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 小テスト 発表 ノート提出
2	言葉と情報 ［教材］「ものとことば」（鈴木孝夫）	a：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b[話／聞]：筆者の主張に従って具体例を話し合い、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。 c：言葉が認識や思考を支えることについて、他のテキストと進んで読み合わせ、説明の仕方を工夫して、理解したことを報告しようとしている。	定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 小テスト 発表 ノート提出
	社会と人間① ［教材］「現代の『世論操作』」（鈴木孝夫）	a:主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 b[書]:調べたことを整理して、説明資料にまとめることができる。 c：言葉が認識や思考を支えることについて、他のテキストと進んで読み合わせ、説明の仕方を工夫して、理解したことを報告しようとしている。	定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 小テスト 発表 ノート提出
	抽象と一般化 ［教材］「夢十夜」（夏目漱石）	a:比喩や言い換えなど修辞を理解できる。 b[読]:文章に含まれている情報を相互に関連付けながら、内容を解釈することができる。 c：我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。	定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 小テスト 発表 ノート提出
	話して伝える ［教材］合意形成のための話し合いを行う	a：話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解を深め使っている。 b[話／聞]：論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、話し合いによって結論を出そうとしている。	小テスト レポート提出	レポート提出 発表 相互評価	授業態度 振り返りシート レポート提出

3	社会と人間② ［教材］「フェアな競争」（内田樹）	a:推論の仕方について理解を深めている。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:「格差社会」や「社会的共通資本」といった現代社会の諸問題に興味を持つ。	小テスト レポート提出	レポート提出 発表 相互評価	授業態度 振り返りシート レポート提出

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間